

## 未来のリーダー教室 「中高生のための言語化講座」 参加者募集中

中高生を対象に、特別企画「中高生のための言語化講座」を2026年1月11日（日）に開催いたします。講師に山口拓朗氏をお迎えし、「言語化」をテーマに、自分の考えを言葉にして伝える力を楽しく学んでいきます。皆さまのご参加をお待ちしております。

### 中高生のための 言語化講座

1月11日（日）

場所： 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター  
「Terrace Room」（JR 御茶ノ水駅 徒歩1分）



講師

山口拓朗 氏

- ・ 山口拓朗ライティングサロン主宰
- ・ 伝える力【話す・書く】研究所所長
- ・ 株式会社アップリンクス取締役

『「伝わらない」から「伝わる」へ』をテーマに国内外で多数の講演を行い、実践的なノウハウを提供している。

対象

中高生

定員

35名

費用

無料

時間

12:55-16:45  
(12:45 会場集合)

#### こんな中高生におすすめ！

- ✓ 頭の中で考えていることがあるのにうまく言えない
- ✓ もっと自分の意見を相手に魅力的に伝えたい！
- ✓ 学校やチーム、組織でもっと活躍していきたい！

#### 申込方法 【事前申込制】



## 理科教育助成 理科教育賞受賞校に実践研究の取組のお話をうかがいました

理科教育賞 **大賞**

### 府中市立府中第六中学校

「科学の時間」で生徒自ら  
「問い」を立てる探究活動を実現



井久保大介先生(左) 佐藤光宏校長(右)

生徒自らの「問い」は探究の原動力になるにちがいありませんが、自発的には起きづらいものです。どうすれば「問い」を生徒がもつようになるか……。こうした課題に対し、単元計画を綿密に立てて実践し、成果を上げた学校があります。東京都府中市立府中第六中学校は、理科に独自の授業「科学者の時間」を取り入れ、生徒自らが「問い」を立てる状況をつくり、科学への関心の向上や、探究サイクルの流れを導きだしました。同校は、日産財団理科教育助成を活用した本研究「生徒が自ら問いを立て、科学的に探究する理科授業『科学者の時間』の実践研究」により、2025年度理科教育賞の大賞を受賞しました。研究を主導した井久保大介先生は、「問い」をつくる生徒たちに寄りそう教師の姿勢の大切さを話します。校長の佐藤光宏先生は、生徒たちが集中の度を高めていくようすを見とれたと話します。

こちらからインタビュー全文をご覧になれます  
[https://www.nissan-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/interview\\_fuchu\\_dairoku.pdf](https://www.nissan-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/interview_fuchu_dairoku.pdf)

理科教育賞 **優秀賞**

### 芝浦工業大学附属中学高等学校

「科学的に探究する力と批判的に思考する力を育成する  
教科横断型授業 –プラスチックは本当に悪なのか–



左から金森千春先生, 關沢千穂先生, 柴田邦夫校長

環境教育が重視されるなか、小学校などですでに知識を得ている中学生の生徒に、いかにそれを体得化させられるかは先生たちの課題のひとつでしょう。芝浦工業大学附属中学高等学校は、プラスチックのもたらす影響を多面的に捉えられる中学2年生向けの授業を計画・実行し、生徒たちに自然環境の保全や科学技術の利用のあり方を科学的に考察し、さまざまな情報をもとに批判的に思考する経験を積ませました。日産財団の理科教育助成を活用したこの研究「科学的に探究する力と批判的に思考する力を育成する教科横断型授業–プラスチックは本当に悪なのか–」で、同校は2025年度理科教育賞の優秀賞を受賞しました。授業を担当した金森千春先生は、全員参加がむずかしい複数の見学会にそれぞれ班員1人を参加させて役割を担わせたなどの工夫を話します。おなじく關沢千穂先生は、一言の声かけで生徒たちの行動が大きく変わったという実感を語ります。柴田邦夫校長は、実験や見学を実際にやってみることの重要性を強調しました。

こちらからインタビュー全文をご覧になれます  
[https://www.nissan-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/interview\\_fuchu\\_dairoku.pdf](https://www.nissan-zaidan.or.jp/wp-content/uploads/interview_fuchu_dairoku.pdf)